

報 告 書

平成29年度

～ すぐ出せ大町 みんなが主役 ～

第8回 市民参加と協働のまちづくりフォーラム

「互いを知り、つながるまちづくり」

平成29年12月16日（土） 開催

会場：サン・アルプス大町 2階「大会議室」



大町市

平成29年度～ ずく出せ大町 みんなが主役 ～
第8回 市民参加と協働のまちづくりフォーラム
「互いを知り、つながるまちづくり」

平成29年12月16日（土） 13：00 開催
会場：サン・アルプス大町 2階「大会議室」

趣 旨

まちづくりは身近でできることから始める実践活動の積み重ねが大切であり、現在、大町市が取り組んでいる「市民参加と協働のまちづくり」は、市民の皆さんの主体的な取り組みと行政の力がタイアップすることにより、より高い成果を目指すものです。

このフォーラムは、まちづくりに係わる人々が一堂に集い、互いの思いを知り、意見交換を行う中で、まちづくりの気運を高めるとともに、きらり輝く大町の創造に向かい、様々な世代の方、団体等関係者が協働してまちづくりを推進していくための機会です。

今回のフォーラムでは、中学生の皆さんによる学習発表をきっかけに、若い世代の地域への関心事を知るとともに、団体や個人が活動を始めた原点を振り返り、様々な世代が関わる協働のまちづくりを考えます。

主 催

大町市

主管：まちづくり交流課市民活動サポートセンター

協力：NPO法人ぐるったネットワーク大町



テーマ

「互いを知り、つながるまちづくり」

市内にはたくさんの市民活動団体があり、それぞれに工夫を凝らし、様々な場面で活躍をしています。最近では、一つの団体が単独で事業を行うだけでなく、他の団体に協力・出展をもらうことで更に魅力ある事業を実施し、互いに活動を充実させている取り組みもあります。

今回のフォーラムでは、第1部では中学生による学習の成果発表を聞き、第2部のミニワークショップでは自分の団体の活動を紹介しながら、中学生や他の団体と協力できることや協力してもらいたいことを話し合い、協働の力で活動の充実や課題の解決を行うことについて考えます。



日程

13:00 開会

13:10~14:30 【第1部】

市内中学生による地域学習の発表

◇仁科台中学校 ◇第一中学校 ◇八坂中学校 ◇美麻小中学校

14:40~16:00 【第2部】

ミニワークショップ

テーマ:「互いを知り、つながるまちづくり」

16:00~16:30

グループ発表

16:30 閉会



市内中学生による地域学習の発表

進行: NPO法人ぐるったネットワーク大町

発表者: 市内の各中学校から代表班が発表

発表時間: 1校につき、発表20分以内

※市内中学校では、現行学習指導要領で位置づけられている「総合的な学習の時間」を使って地域学習に取り組んでいます。

◆「大町の未来をつくるⅡ」大町市内4校の中学生による地域学習の記録



特定非営利活動法人 ぐるったネットワーク大町

2017年12月16日 発行

※NPO法人ぐるったネットワーク大町および市民活動サポートセンターで配布しています。

※大町市ホームページ >市民参加・協働

>市民活動サポートセンター

>市民参加と協働のまちづくりフォーラム

よりダウンロード可能です。



◇第一中学校◇

第一中学校の総合的な学習の目標

「自分を知り、地域や社会とつながりながら、自分の生き方を考えられる生徒の育成」

3年間の流れ

1学年	自分を知る学び方を知る
↓	
2学年	自分と社会の関わりを考える
↓	
3学年	自分と地域の関わりを考える



発表

《1学年 学び方を学ぶ・ODT》

1学年では、学びの基礎となる『考え方』を身につけることを目的に、イメージマップなどの試行ツールと、自らの生きる大町を学ぶことを関連づけて、学びを深めてきました。

◎ ODT 大町第一ツーリスト～大町の魅力を伝えよう～

2学期は、大町の魅力について学んできたことを『伝える』という活動をメインに行いました。

☆あなたは、旅行会社の社員です。都会から大町に旅行に行きたいがそのプランをたてて欲しいという依頼がありました。魅力を伝えるプランを作ってください。

1学期に広げた大町の魅力を活用して、班ごとプラン作成を行い、実際に学年内コンペも行ないました。

- <プランー例> ○自然～家族が楽しめる旅行プラン
○神社～大町の歴史を知る



◇仁科台中学校◇

仁科タイムの目標

「地域社会の人・もの・ことに主体的に働きかけることを通して、生きる力を育む」

3年間の流れ

1学年	「地域を知る」・・・自分の育った地域をより深く知り、地域の良さを知る。
-----	-------------------------------------

↓

2学年	「地域の人に学ぶ」・・・職場体験学習を中心に「働くこと」について考え、将来の自分の生き方を見つける。
-----	--

↓

3学年	「地域と共に生きる」・・・育ててもらった地域に「恩返しできること」を考える。 地域に出て、地域の方々と共にできる活動を組み立てる。
-----	--

↓

3年間のゴール ⇒ 「自分たちのふるさとをどう考え、どうしていくのか？」につなげていく。	
--	--

発表

《1学年 「大町を知る」プロジェクト》

◎講座：「自然」「人物」「産業」「歴史」「食」「観光」

＜発表一例＞ ○絶滅危惧種のライチョウ

○水の街 大町市

◎東京都武蔵野市立第五中学校との交流



◇八坂中学校◇

本年度の重点 考える力を高める



- ◎重点1：話し合い活動の充実
- ◎重点2：表現力の育成
- ◎重点3：つける力の明確化

『やさかの時間』のテーマ：「八坂のそば」



発 表

《3学年》

「八坂のそば」を中心に据えて、どんなことができそうか、全校で考え合いました。
普段持つ「そば」のイメージにこだわらず、様々な発想が広がりました。

- そば粉グループ
- ジビエそばグループ
- ものづくりそばを活かす竹グループ
- ものづくりそば石鱈グループ
- OPRグループ



◇美麻小中学校◇

関係をつくる力を高める「美麻市民科」

区分	課程	関係をつくる力	学年
ホップ	人間としての基礎を培う	友だちとやりたいことに積極的に挑戦する	3
			4
ステップ	思考力を高める	対話を通してお互いを理解し、認め合う	5
			6
ジャンプ	社会との関係を明らかにする	確かな意思をもって、他に働きかける	7
			8

発表

《8学年》

◎目指せ！銀座 NAGANO！花豆 MAME（株）

美麻を活性化させることを目標に、花豆を通して美麻の認知度を上げるために設立された任意団体。代表取締役社長を中心に「戦略室」「デザインルーム」「育てる会」の部門に分け、自分たちで花豆を育てながら、色々な可能性を考え、最終的には「銀座 NAGANO」に商品を出品することをめざし、活動しています。本年度は「花豆モンブラン」の販売や地区文化祭でイベント決行！



ミニワークショップ

〈テーマ：「互いを知り、つながるまちづくり」〉

10グループに分かれて、グループトークを開催。
結論を導きだす訳ではなく、活発な意見交換を行う。

進行：市役所若手職員及び中堅職員（2名）

『進め方』

*ミニワークショップ

- ①司会進行者紹介・冒頭説明（「記入シート・名札」の記入、ルール説明）
 - ・お名前またはニックネーム
 - ・「あなたが“参加している活動”や“やってみたいこと”は何ですか。」
- ②自己紹介、中学生の発表に対する感想
- ③意見交換（付箋に記入、模造紙に貼る）

色々な活動の話聞き、他の団体や人とのつながり、何か一緒に取り組めることなどを話し合う。
- ④みんなの意見など通じての感想等

*グループ発表

各グループがミニワークショップから出された意見等から、要点について発表する。

①お名前またはニックネーム

②あなたが“参加している活動”や“やってみたいこと”は何ですか。

今、頑張っていることや、あなたが取り組んでいる活動などを教えてください。
または、これから取り組んでみたいと思っていることを教えてください。

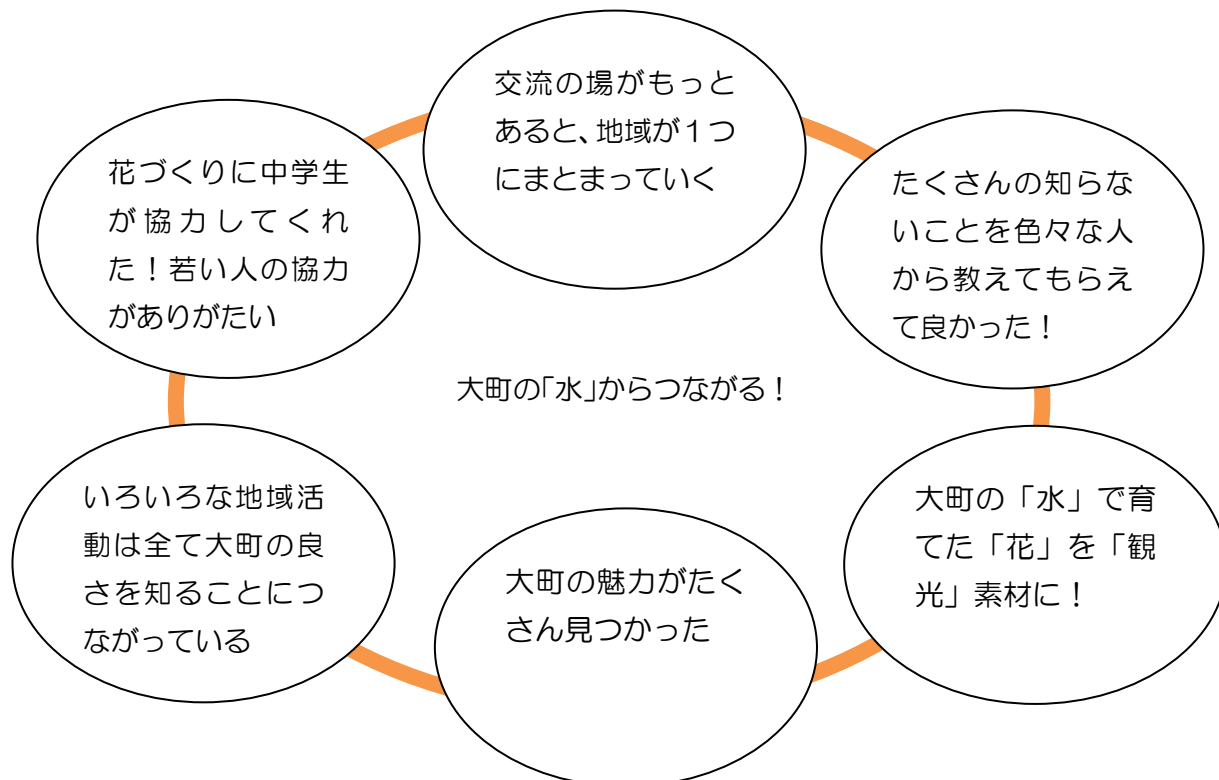
『ミニワークショップのルール』

- ◇あなたの思いを素直に出しましょう。
 - …理想でもOK、実現可能かどうかは問いません。
- ◇人の意見の批判はやめましょう。
 - …人それぞれ、いろんな意見や考えがあります。
- ◇人の意見などに共感するところは積極的にアピールしましょう。
 - …個々の思いがみんなの思いへと。
- ◇なるべく多くの意見を出しましょう。
 - …そこから更なる広がりにつながるかも。
- ◇話す時は出来るだけまとめましょう。
 - …他の参加者の話す機会を作り、多くの話を聞けるように。



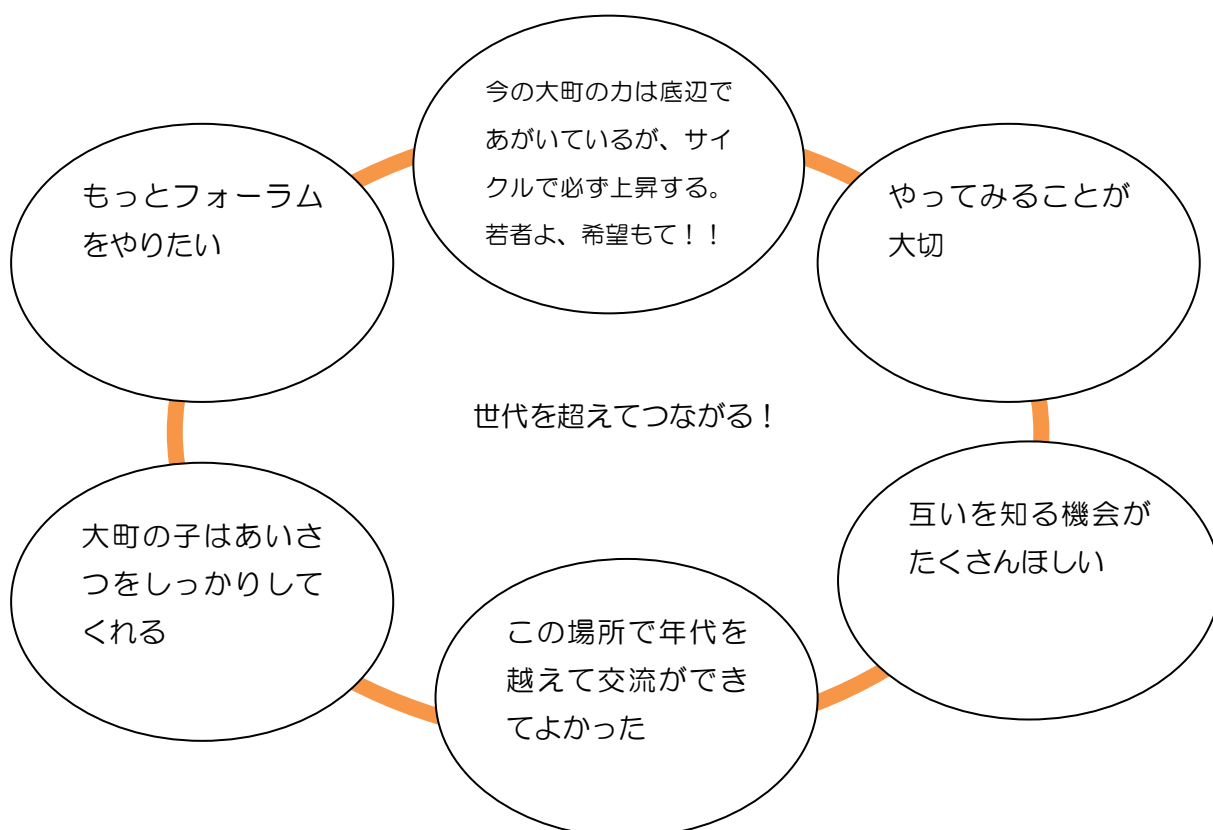


「互いを知り、つながるまちづくり」





「互いを知り、つながるまちづくり」



第8回市民活動参加と自働のまちづくりフォーラム
 (思いを語り、つながるまちづくり)

大町の魅力

- 大町=自然は
ほかのまちには
ない。自然の
恵みを受け
ながら生活
- 静かな環境
- 大町の
「水」
キレイ
- 大町で働く
人たちが
大切にしている
大町のこと

- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 自然の
恵みを受け
ながら生活
- 大町で働く
人たちが
大切にしている
大町のこと

- 大町=歴史を
語るまち
- 今、大町
が女子力

- 大町=水は
大町を潤
っている
- 水は自然
の恵み

今の課題

- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている

- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている

- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている

フォーラムの感想

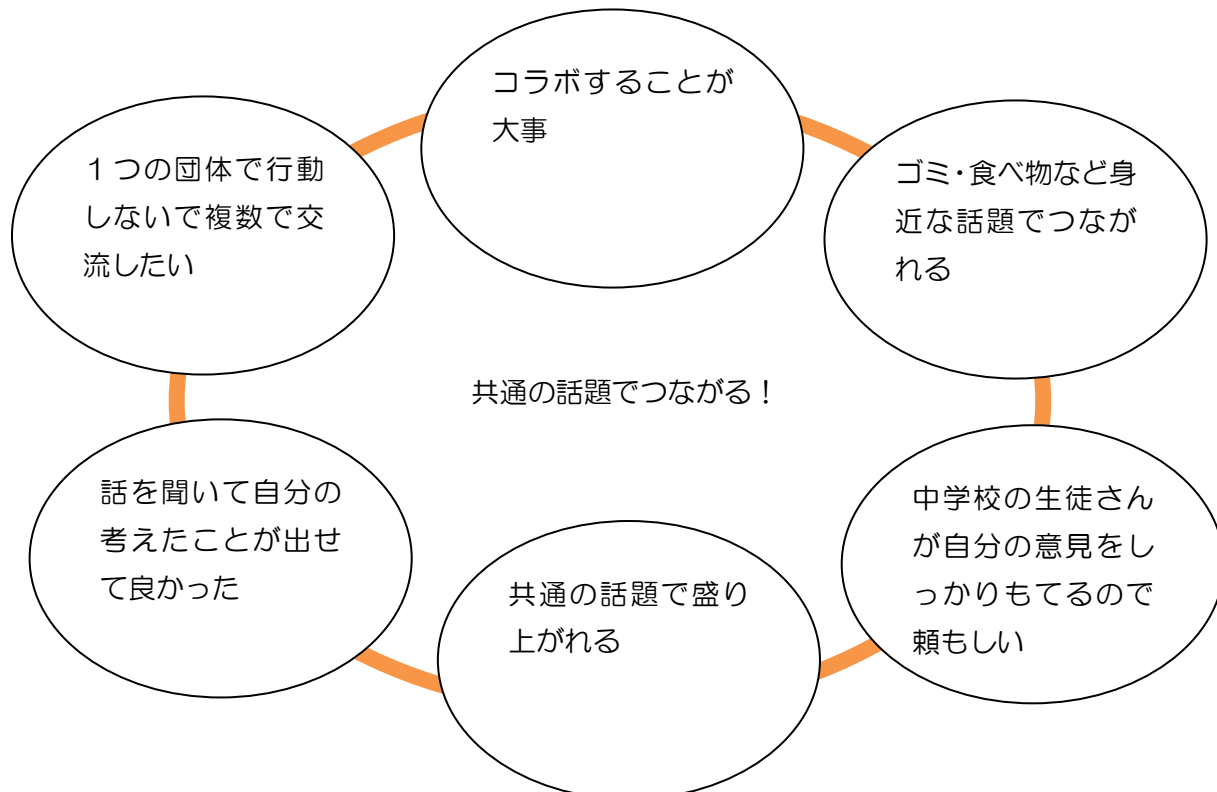
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている

これからのまちづくり

- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている
- 大町=水は
大町を潤
っている

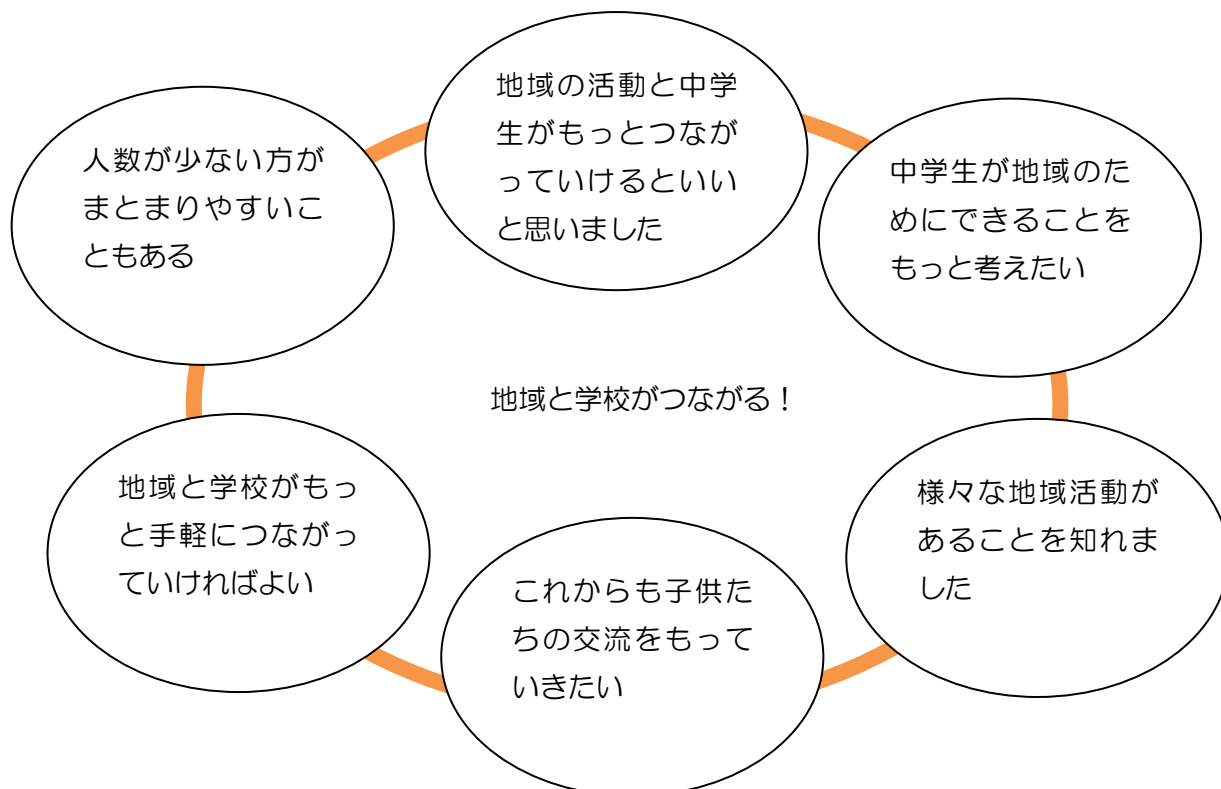


「互いを知り、つながるまちづくり」



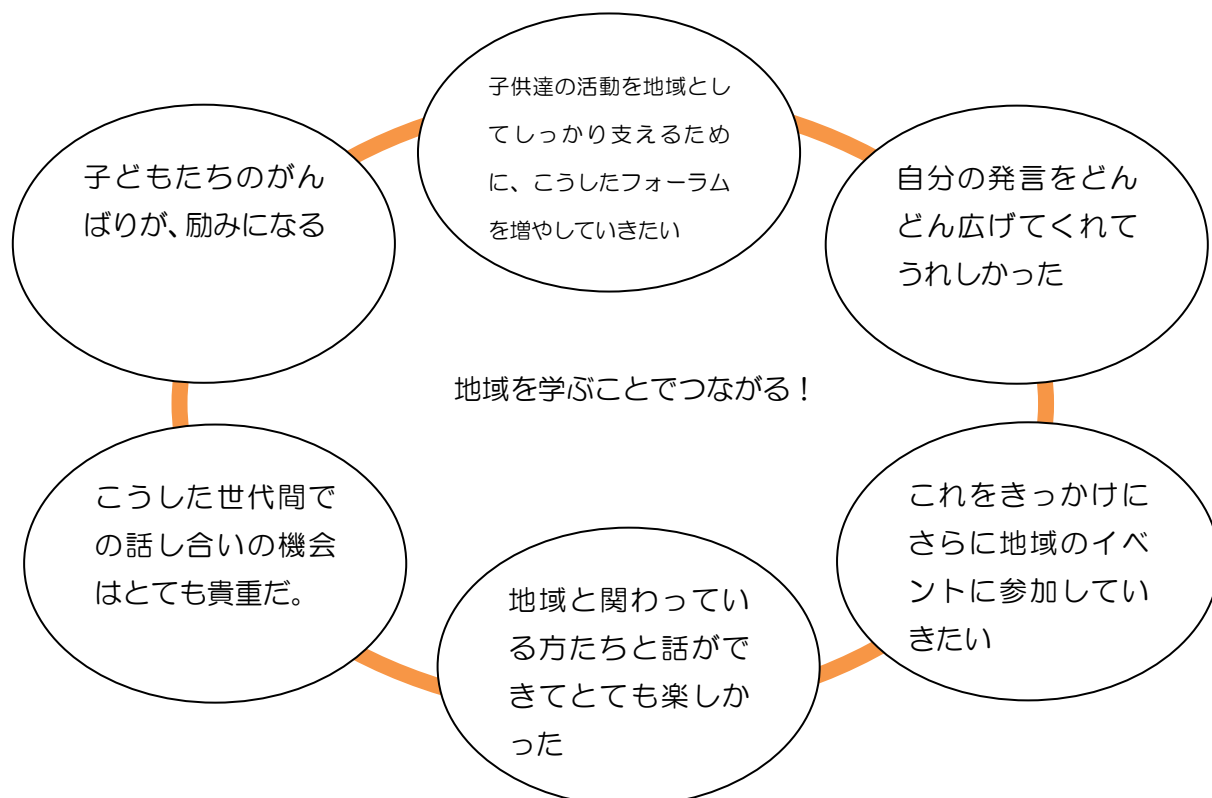


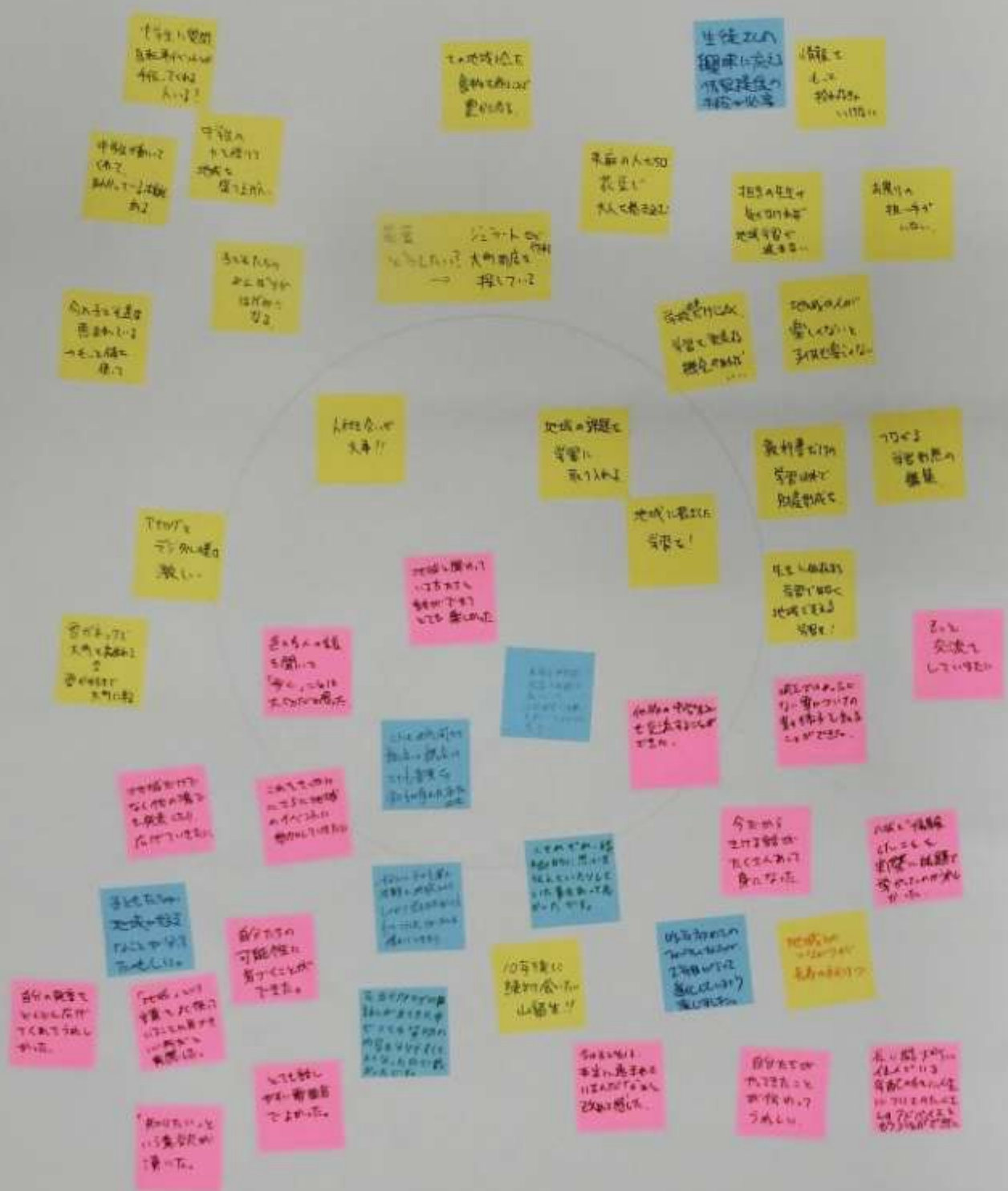
「互いを知り、つながるまちづくり」





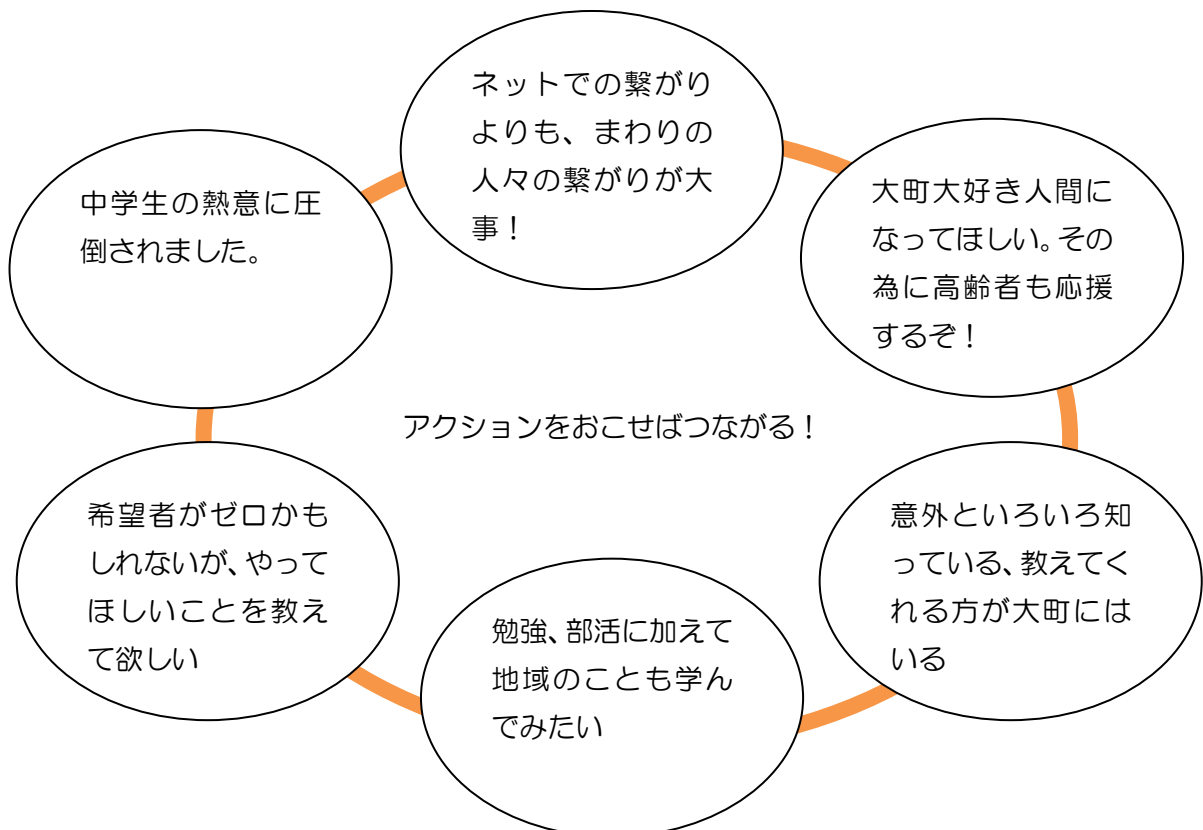
「互いを知り、つながるまちづくり」





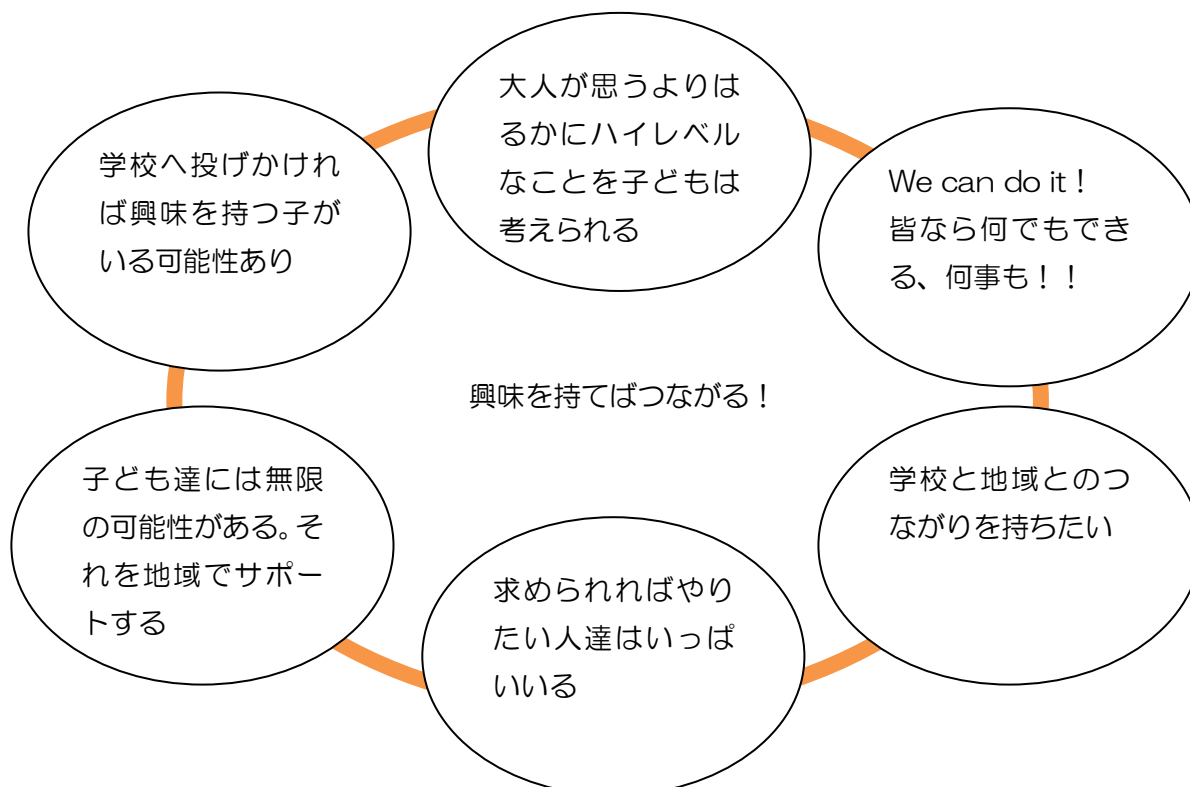


「互いを知り、つながるまちづくり」





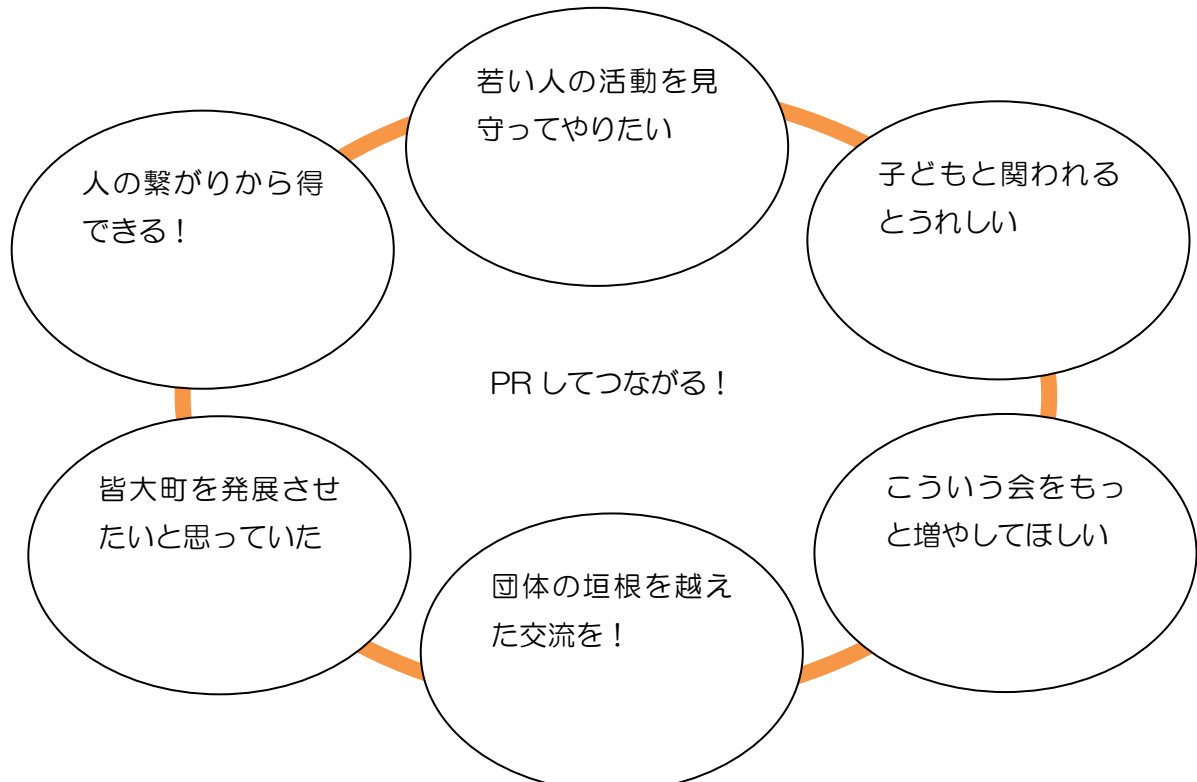
「互いを知り、つながるまちづくり」



【グループNo8】 司会者：松本・北澤



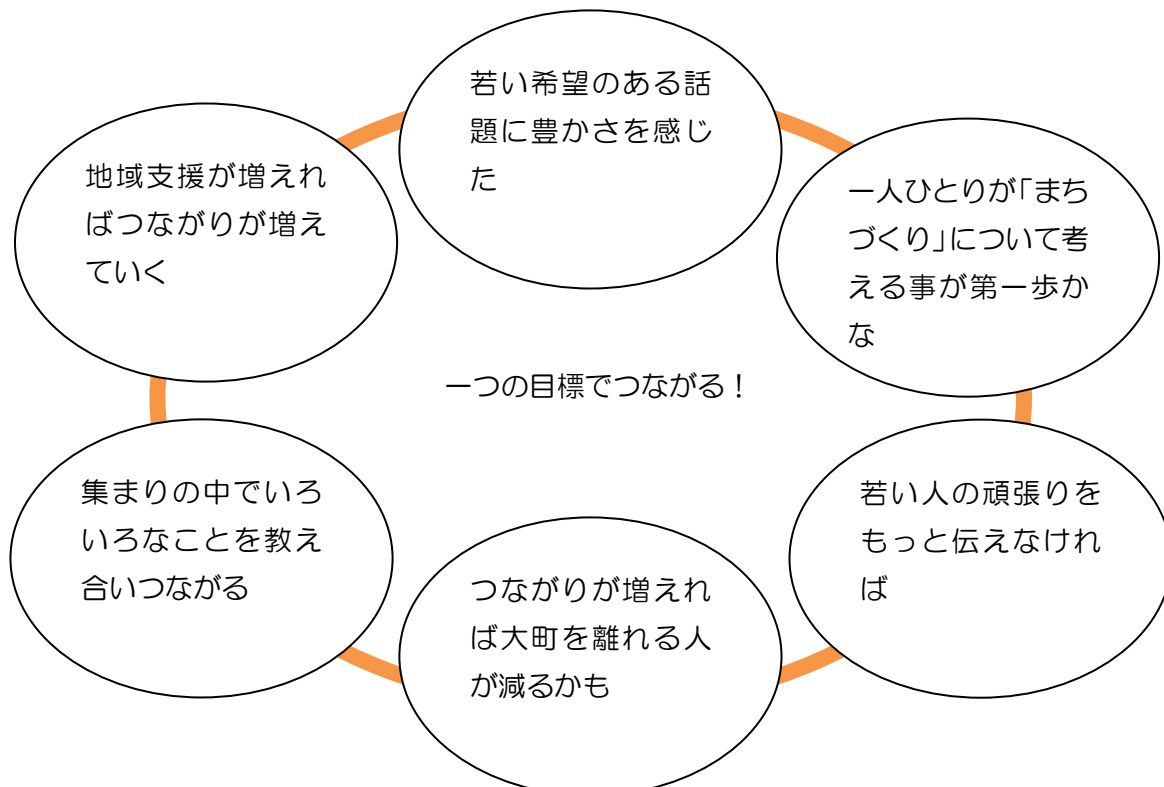
「互いを知り、つながるまちづくり」





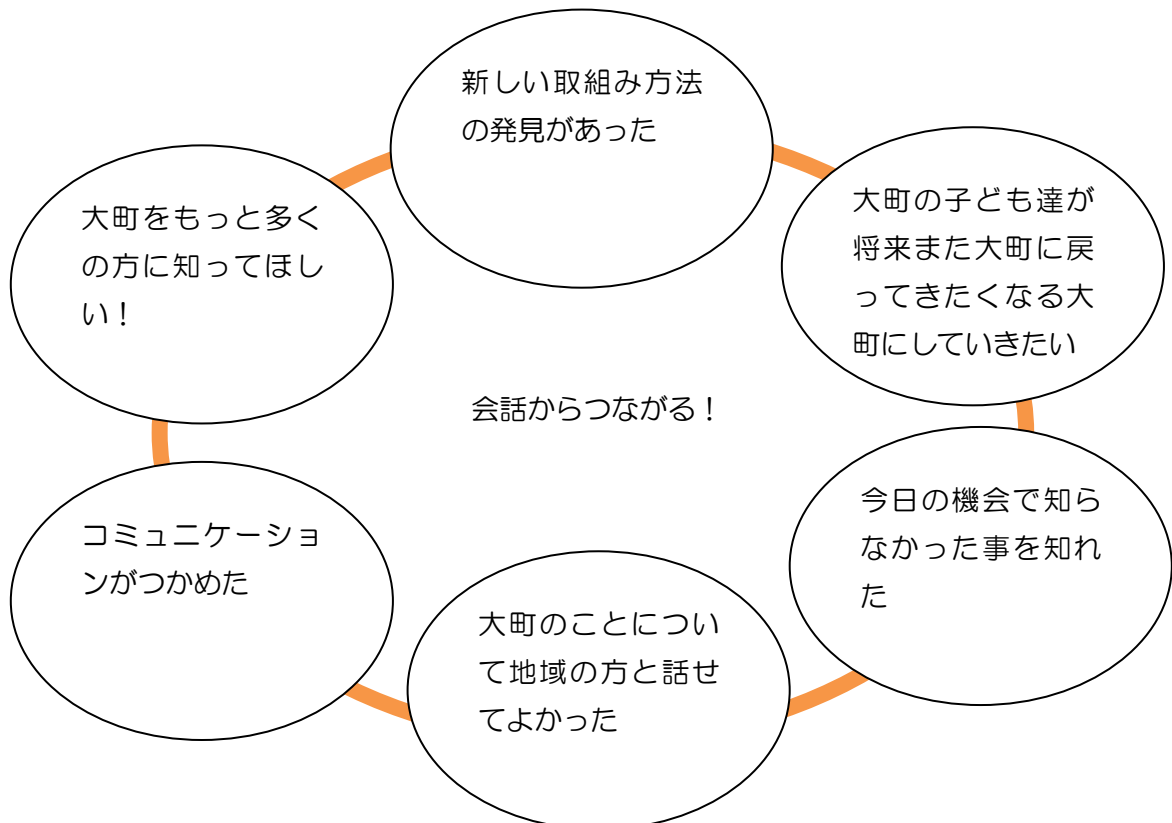


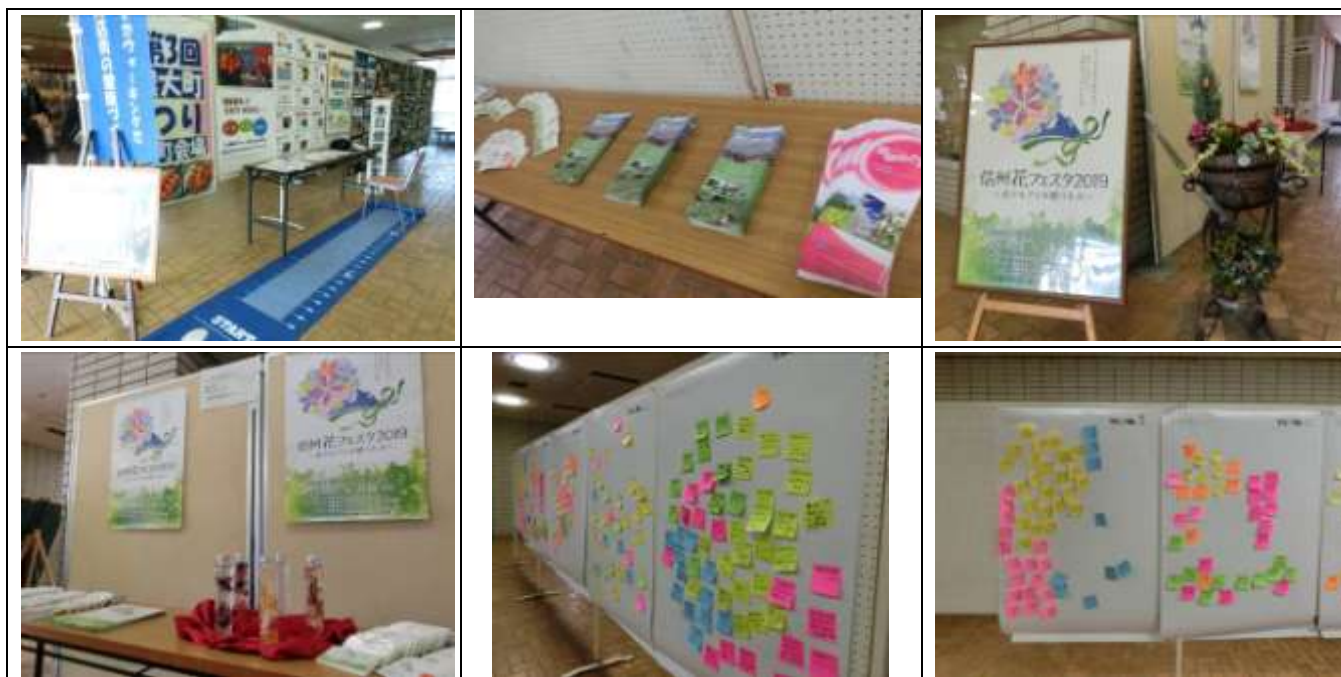
「互いを知り、つながるまちづくり」





「互いを知り、つながるまちづくり」





参加者の声（抜粋）

- 楽しかった。このような会が増えれば、大町がより発展していき、地元に戻ってくる人も増加するのではないかと思う。（10代 男性）
- 皆とたくさん意見を共有することができてよかった！大町の魅力を再発見することができてよかったです。（10代女性）
- まちづくりについて考えること、それこそが第一歩だと思いました。子供達が堂々と発表していて良かったです。（30代女性）
- とても勉強になりました。中学生の発表が本当に素晴らしかった！若い人達の発想がとても大事ですね。（40代男性）
- 中学生の発表によって、大町の魅力について改めて考えることができた。（50代男性）
- 中学生の発表、素晴らしかったです。とても勉強になりました。元気を頂きました。ありがとう。（70代以上女性）